

## 「重症心身障害医療」臨床研修プログラム

### 一日コース

#### 1. 概要

初期臨床研修の中で、重症心身障害医療についての研修を1日コースで行う。

#### 2. 運営

本プログラムの運営は、管理型臨床研修病院の卒後臨床研修管理委員会と研修協力施設である重症児者病棟を有する国立病院機構病院（以下、重症児者研修病院）の臨床研修委員会とにおいて審議の上、運営していく。

#### 3. 臨床研修責任者

重症児者研修病院の臨床研修責任者

#### 4. 指導医

重症児者研修病院の臨床研修指導医

#### 5. 一般目標 (General Instructional Objective: GIO)

重症心身障害医療を理解し、その療育に必要な知識、態度を学ぶ。

- 1) 重症心身障害医療の歴史・背景を学ぶ
- 2) 重症児者の重症児者基礎疾患の理解
- 3) 重症児者に起こりやすい症状、病態と対応の理解
- 4) 重症児者の日常的な医療処置の理解
- 5) 重症児者療育におけるチーム医療の理解と体験
- 6) 在宅重症児者の生活を知り、支援としての医療を理解
- 7) 特別支援学校の障がい教育を知り、医療的ケアを理解
- 8) 重症児者への福祉サービスについての理解

#### 6. 方略 (Learning Strategies: LS)

- 1) 重症児者研修病院において、指導医の指導の下に診察、検査、治療などの診療を見学する。
- 2) 重症心身障害医療の基礎知識の習得のために指導医のもと講義を受ける。
- 3) 重症児者に関わる他職種と連携をとりながら療育活動、在宅支援事業、特別支援学校を見学し体験する。

#### 7. 評価 (Educational Evaluation: EV)

- 1) 研修医の評価： 研修終了時に評価表に従って自己評価と指導医による評価を行う。
- 2) 指導医の評価： 指導医も自己評価と研修医による評価を行う。
- 3) 研修プログラムの評価： 研修医や指導医の意見を聞き、プログラムに問題が生じた時点で研修委員会を開催し、適宜修正を行う。

#### 8. 研修内容

##### A 講義受講項目

一週間コースと同じ

##### B 経験項目

一週間コースと同じ

## C 経験スキル

一週間コースと同じ

### 9. カリキュラム

#### 最近の具体例 (12/26)

8:45～9:45	オリエンテーション (研修管理責任者) 講義「重症心身障害医療の概要」 A① 医師
9:45～10:00	重症心身障害病棟紹介 (駒澤看護師長) B棟
10:00～10:15	経験：胃瘻、気管カニューレ交換 C①② 医師
10:15～10:30	経験：通園事業 (在宅支援) B①⑦ 医師
10:30～11:00	経験：病棟で療育 B③ (保育士、指導員)
11:00～11:30	経験：病棟での校教育 B⑥ (若槻養護学校教師)
11:30～12:00	経験：重症児への摂食機能訓練と摂食嚥下評価 B④、C⑥⑦ (言語聴覚士、栄養士)
12:00～13:00	昼休み
13:00～13:30	講義「重症児の疾患・消化器」 A③b (医師)
13:30～14:00	経験：重症児への理学療法 B② (理学療法士)
14:00～14:30	講義「重症児の療育と福祉」 A⑥ (指導室長)
14:30～15:00	経験：重症児への作業療法 B② (作業療法士)
15:00～15:30	講義「重症児の疾患・てんかん等」 A③c (医師)
15:30～16:00	講義「重症児の基礎疾患」 A② (医師)
16:00～16:30	講義「重症児の栄養管理」 A⑤ (栄養士)
16:30～17:00	経験：診断と治療 B① (医師)
17:00～17:15	まとめ (研修管理責任者)

### 10. 指導体制

- 1) 総括： 臨床研修責任者
- 2) 診療： 指導医、看護師長、リハビリスタッフ
- 3) 療育： 療育指導室長、主任保育士
- 4) 在宅： 療育指導室長、担当看護師

臨床研修フィードバック  
「重症心身障害医療」一日コース

研修医氏名

管理型病院名

---

研修期間 年 月 日

1. 経験した内容

2. 印象に残った出来事

3. 自己評価できる点

4. 指導側への要望

5. その他

研修終了後に〇〇までコピーして提出してください。

国立病院機構東長野病院